

# 平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	世羅町立世羅小学校
-----	-----------

## 1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

町内外で実施される料理コンテストへの応募に積極的な家庭がある反面、応募しない家庭が固定化している。

## 2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

家庭と連携して食育を進めるため、親子で栄養のバランスを考えた食事作りに取り組む家庭を増やす。  
目標値は、学校内外の栄養バランスを考えた食事作りに応募する家庭の割合を全家庭の 75%以上とする。

## 3 食育の目標に対する具体的な取組

### 【取組 1】（テーマ） 調理体験を増やす取組

#### ①料理コンテストへの応募

「ひろしま給食 100 万食プロジェクト（県）」「つくってみよう！自分の朝ごはん（県）」「たすきでつなぐ世羅の食育レシピコンテスト（町）」に参加し、家庭で調理をする機会を設けた。

#### ②食生活改善推進員との連携

##### ・調理実習

4・6年生の授業において、それぞれ、おやつづくり、卵料理の調理を行った。

##### ・ファミリークッキング

夏休み中に 2 日間実施し、合わせて 8 家族 22 名の参加があり、親子で楽しく調理することができた。

##### ・クッキングクラブ

4 年生以上が所属するクラブ活動にて、簡単に作れるおやつや主食作りを行った。



### 【取組 2】（テーマ） 地場産物を活用し、地域への理解を深める

#### ①「たすきでつなぐ世羅の食育～せらのふるさと給食～」

生産者・学校・給食センターが食でつながり、地元の食材とその生産者を紹介する取組を引き続き行った。  
児童生徒が地場産物、旬の食材、農家の方の思いを知ることで、食への関心や感謝の心を育む機会となっている。

##### ・農家取材及び指導資料の作成

##### ・旬の地場産物を使った献立考案、給食での提供

##### ・学校での資料掲示

##### ・食べた感想を各学級で書き、生産者へ送る

##### ・給食風景をケーブルテレビで放映



## ②地域の農家の方と連携した食育の取組

### ・食育授業

地元生産者をゲストティーチャーとして招聘し、育てている食材や苦労、思いについてお話をしていた。

### ・朝会でのとうもろこしの皮むきと給食での提供

町教育委員会や地元生産者と連携し、1年生を対象としてとうもろこしの皮むきを行い、給食で提供した。

## 4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

・レシピとキャッチコピーの応募を奨励した。家庭での調理体験の機会ともなった。

・世羅町内統一献立として「ひろしまオールスター★担々丼」の提供とそれに伴う指導資料の作成を行った。

・ファミリークッキングで「フレーフレー！！サンフレぶどうゼリー」の調理・試食を行った。

・校内マラソン大会で「フレーフレー！！サンフレぶどうゼリー」の試食を提供した。



## 5 取組に対する成果と課題

### 【成果】

・学校内外の栄養バランスを考えた食事作りに応募した家庭の割合は71%（180/254家庭）であった。前年度70%（178/255家庭）に比べ、ほとんど変わらなかった。

・「たすきでつなぐ世羅の食育レシピコンテスト」では、5名の児童が最優秀賞、優秀賞を受賞することができた。

### 【課題】

レシピ応募やファミリークッキングへの参加状況等から、食育の実践的な取組に積極的な家庭がある一方で、消極的な家庭があり、それが固定化している現状がある。

## 6 今後の取組に向けた改善方策について

・レシピ応募が低・中学年で少ない現状があったので、学校全体で少しでも応募を増やすために、たよりや掲示物等で情報を発信していく。

・「せらのふるさと給食」事業により地場産物を知ること、調理実習等により作って食べる体験を通して、食への興味・関心を高める。またそれらの、食に関する指導への積極的な活用、教科との関連を生かした内容の指導を行う。